



文責 岩根小校長 佐藤勇人

自分を大切にすると いうこと

12月5日から12日にかけて行いました個別懇談には、お忙しい中おいでいただきありがとうございます。短時間ではありましたが、大変有意義な機会となりました。今後の指導に生かして参りますので、どうぞよろしく願っています。

さて、先日雑誌を読んでいた際に、次のような記事を目にしました。(共感する部分がありました。)

(前略)自分を生かすために自分を大切にしている超一流の人は、野球のイチロー選手です。彼の活躍はニュースでいつも聞いています。今まで大きな故障がありません。スランプこそありませんが、自分の健康をしっかり管理しているからだと思えます。そして、何よりも自分の野

球道具を大切に扱っているそうです。毎日のプレーには、うまくプレーできず腹が立つこともあると思います。でも道具にあたりたり、粗末に扱ったりしている場面を見たことがありません。うまくプレーできなかつた仲間の選手にも、必ず励ましている様子が映像から見とれます。一流選手という人は、人や物を大切に、自分も大切にしている人だと思えます。(後略)

私たち教職員は、子どもが人生の中で一人の人間として自立し、輝いていってほしいと願っています。誰もがイチロー選手のように一流になることはできないと思いますが、子どもが輝こうとする意欲を持たせるのは、大人の責務だと思っています。

学校では、学習活動の中で友達との関わり合いや助け合い、相手のよさに気付かせる体験などをたくさん作るよう心がけています。そのためには、子どもの心の準備が不可欠です。家庭のあるべき姿が重要となってきます。

当然のことですが、子どもにとって一番安心感がある場所は家庭です。家庭で親や家族の温かい愛情を受け、子どもは心のエネルギーを満たします。エネルギーが満たされた子どもは学校でも意欲的です。勉強や友達との関わりも前向きで積極的に頑張ります。自分を大切にしようとするともに、友達をも大切にしようとしています。

何よりも自信のある行動ができません。一方、エネルギーがあまり満たされない時には、朝から元気がなかつたり不機嫌だつたりして、自信と意欲が感じられませんが、自分に都合の悪いことは人のせいにして、がちで、友達とのトラブルも起こしがちになります。

冬休みが近づいてまいりました。年末・年始の忙しさもありますが、お子さんとふれあつたり、様々なことを話し合つたりするよい機会です。ぜひ、お子さんとの関わりを大切にする冬休みとなりますようよろしく願っています。

「福島発『キュウリビズ』愛情込めて キュウリ栽培大作戦」 表彰式から

12月12日(月)午後2時から、JA福島ビルに於いて、「福島発『キュウリビズ』愛情込めてキュウリ栽培大作戦」表彰式がおこなわれました。

本校では春蘭学級がコンクールに応募し、見事特別賞の福島民報



社長賞を受賞しました。当日は、6年生が代表して賞状と副賞をいただきました。これまでの頑張りに大きな拍手をおくりたいと思います!

「こんな本宮駅が きたらいいな!!」 絵画作品展表彰式から

12月10日(日)9時30分より、白沢文化ホールにおいて、「こんな本宮駅がきたらいいな!!」絵画作品展表彰式が行われました。本校でも多数出品し、優秀賞に6



年生が、優良賞に6年生と2年生2人が入賞しました。表彰式では、3人ともに立派な態度と返事ですばらしかったです。

12月10日(土)から12月25日(日)まで、白沢文化ホールで入賞作品を含め全作品の展示をおこなっています。ぜひご覧におかけください。